

児童発達支援 事業所における自己評価結果（公表）

公表： 2024年 2月 15日

事業所名 こどもサポート教室「クラ・ゼミ」東福山校

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5	1	1対1の個別ですので、人数は配置できるようになっております。	児童発達支援には狭いと感ずることがあることも感じられるため、広く使えるときは、パーテーションなどを外して対応しております。
	②	職員の配置数は適切である	6	0	どの時間帯においても、利用者様と職員が1対1で支援できる環境を整えております。	
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	5	1	事業所の間取りを技能スペース、職員室の大きく2フロアに分け、職員の目の届きやすいようにしています。また、事業所内の段差は無くしています。	玄関前の段差への工夫が必要。また滑りやすいなどはありますが、来校時に気を付け、入室頂いた際に声掛けと見守りを行っています。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	6	0	生成面に関しては、毎年社内研修や集団研修で、最新情報を取り入れております。療育の目的に合わせて、変化させております。	
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	4	2	毎支援後、必ず保護者様と利用者様の日々の様子をフィードバックする時間を設け、迅速に対応できる環境を整えております。	
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6	0	毎年欠かさず公表を行っています。また頂いた意見は、株式会社クラ・ゼミとして共有し、改善しております。	疑問はある部分もありますが、出来る限りの対応を行っています。

	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6	0	⑥と同じ。	
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	3	3		第三者の外部評価ではありませんが、福山地域3校舎が互いにチェック評価を行っております。また、会社内部評価の元、健全な運営を行っております。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6	0	月1度の地域研修、職員レベル別の社内研修などを行っております。また、発達支援研究所に研修を依頼し、知識面・技能面の専門的な発達に関する研修を行っております。	
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	6	0	毎支援後、必ず保護者様と利用者様の日々の様子に関して、フィードバックをする時間を設け、迅速に対応できる環境を整えております。また、定期的に事業所内でのケース会議を行い、指導員だけでなく、事業所として利用者様の個別支援計画書を作成しております。	
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6	0	初回面談時、受付シート等で行っております。また、年1回の振り返りもアセスメントシートを用い行っております。	
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	6	0	個別療育という等事業所の特性を反映し、保護者様、利用者様、事業所の3視点で目標設定を立てております。	

	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	6	0	ケース会議、事業所内ミーティング、支援記録の振り返りなどを通して確認し、必要によっては、個別支援計画の再設定を行っております。	
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	6	0	⑬と同じ	
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6	0	⑬と同じ	
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで児童発達支援計画を作成している	6	0	利用者様によっては、集団療育をしている事業所の斡旋を行っております。	個別支援に特化しており、集団療育の機会が少ないため、定期的に集団療育のイベントを行っております。
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5	1	朝礼・夕礼にて利用者様の情報を担当職員が共有しております。	一部確認は出来ていない部分もあるため、共有の徹底を行っています。
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6	0	⑰と同じ	
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6	0	株式会社クラ・ゼミとして、内部監査を毎年行い、セルフチェックをしています。また、月末に必ずセルフチェックを行っております。	
	⑳	定期的なモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	6	0	⑬と同じ また、担当制を導入し、細かな変化に気が付ける体制を整えております。	
関係機関や保護者との	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6			担当職員が参加しております。
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	6			積極的に、保育園、幼稚園、関係機関に出向き、現場の職員さんと意見交換をしております。また、常に見学可能としており、当事業所での様子が知れるようにしております。

連携	⑳	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	6		該当児がいた場合、担当医に話を聞き、注意点などを参考に対応しております。	
	㉑	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	6		㉑と同じ	
	㉒	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6		㉑と同じ	
	㉓	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6	0	㉑と同じ	
	㉔	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	6	0	㉑と同じ	
	㉕	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	4	2	㉑と同じ	
	㉖	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	3	3	開催時は、出来るだけ参加しております。	
	㉗	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6	0	㉑と同じ	
	㉘	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	3	3	療育の内容によっては、保護者様同伴で支援に参加していただき、お子様との関わり方、ご家庭でのあり方などアドバイスさせていただいております。	
保護者への説明責	㉙	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6	0	初回の契約時に、利用者様の状況に合わせた具体的な金額を用いながら説明させていただいております。 また、校舎入り口にいつでも見られるように説明出来るファイルを設置しております。	

任 等	③③	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	6	0	個別支援計画作成、実施の際には、児童発達支援管理責任者のみならず、直接支援する指導員も自分の言葉で言い換え、文字では伝わりづらい認識の違いをなくすように努めております。	
	③④	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6	0	相談があった場合、時間を取り、面談などを適宜実施しております。	
	③⑤	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0	6		現状、実施できておりませんが、より大勢の利用者様がつながれる、当事業所以外の関係機関の斡旋を行っております。
	③⑥	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	6	0	相談申し入れにつきまして、営業時間帯いつでも対応できるようにしております。	
	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5	1	公式ラインサービス・当社ホームページを活用し、事業所イベントの告知を行っております。	
	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意している	6	0	鍵付きロッカーを必ず使用し、社内研修にて、職員の意識の向上を図っております。	
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6	0	利用者様、保護者様一人ひとりに「寄り添う」スタンスのもと支援をさせていただき、困り感を聞けるよう常に心掛けております。	
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	4	2		③⑤と同じ 利用者様の特性に配慮しながら、地域参加型のイベントを構想しております。

非常時等の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	6	0	毎月、防災訓練を実施しております。また年間でスケジュールを組み、年2回は利用者様と一緒に避難訓練を実施しております。
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6	0	④①と同じ
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	6	0	契約時に確認の他、定期的なアンケートにて把握しております。
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6	1	④④と同じ
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6	0	兵庫、中国、四国、九州でヒヤリハットを共有し、事故防止に努めております。
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6	0	毎年、市主催の研修を初め、社内でも独自の研修、ストレスチェックをしております。
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	6	0	運営規定や身体拘束についても、重要事項説明書に明記し、該当する児童がいれば対応していく体制を整えています。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

児童発達支援 保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：2024年 2月 15日

事業所名：こどもサポート教室「クラ・ゼミ」東福山校

保護者等数（児童数）：14（16）回収数：14 割合：100%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	12	2	0	0		
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	10	0	0	4		
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	12	0	0	2		現在の児童状況では、特に問題がない範囲と考えさせていただいておりますので、安全に様子を見させていただいております。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	12	1	0	1		子どもたちのニーズなども考慮しながら支援道具など環境調整を行っております。
適切な支援の提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	12	1	0	1		客観的に計画を立てることが出来る様に、ケース会議を得て、しっかり職員間で計画を考えさせてもらっております。
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	11	0	0	3		ガイドラインを参考に、必要な方法に沿って、1人1人に合う内容を検討し支援内容に反映させています。
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	12	1	1	0	担当の先生が子ども本人をよく見て、計画に沿って支援してくれている。	基本的に個別支援計画書に則った支援を行っております。
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	10	1	0	3	毎回全て同じ内容ではなく、日によって変えてくれている。迎えの際その日やった事を教えてくれる。	子どもたちが機械的にならないように、その日の気分や様子も見ながら、活動に変化をさせてもらっております。

	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	6	3	1	4	月に1回程、多人数での交流&イベントがある。帰宅してから子どもが、楽しかった！と言ってくる。	出来るだけきり広場で参加を呼びかけ、そこで一緒に出来るように声掛けはしております。
保護者への説明等	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	14	0	0	0	丁寧に説明頂きました。	最初の契約時にできるだけわかるように説明をさせていただいております。必要な場合は、あらかじめ説明を行っております。
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	14	0	0	0		保護者様と一緒にモニタリングを通して、計画した内容の説明を行っております。
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	8	1	1	4	相談に乗ってもらっています。	必要な場合により、同時に行わせていただくようにしております。
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	12	1	0	1		送迎の際に状況を伝えさせていただいております。また、出来なかった話は、LINEなども駆使してご連絡いたします。
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	11	2	1	0		必要に応じて連携をさせていただきますようにしております。半年に1回は必ず話し合う時間を作らせていただきます。
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	3	2	4	5	月に1回イベントがあるが、私は下の子が小さいのもあり出られていないので不明。ですが支援はあると思います。	クラ・ゼミでの開催を試みましたが、集まりがなかったため、外部への紹介をさせていただいております。

	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	10	3	0	1	子ども（利用者）側の感染症でのお休み連絡に対するフォローも丁寧で早い。支援者側の産休事前連絡や、長期お休みで担当の先生が変更になる旨の連絡も素早く丁寧であるし、新しい先生の紹介等もしっかり連絡がくるので分かりやすい。	出来るだけ受けた相談は迅速に対応させていただき、配慮させていただきます。しかしながら、お答えできない場合があります。
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	13	1	0	0		送迎毎や LINE にて現在の状態など情報交換をさせていただいております。
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	6	3	0	5		定期的にホームページは公開させていただいております。その内容は、外の掲示 QR コードからすぐに見られるよう、また LINE のページから見られるようにしております。
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	13	0	0	1		連携等以外の個人情報に係わる同意書にのっている内容以外で使用することはありません。
非常時等の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	11	0	1	2		外の掲示やファイルに閉じている通り、マニュアルを作成しております。それにしたがって、月 1 回の防災訓練なども行っております。
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	10	1	1	2		月 1 回の防災訓練などを通して、緊急時のたぐわえなど確認をしております。

満足度	⑫	子どもは通所を楽しみにしているか	13	1	0	0	出来るだけ楽しんできていただけるように、いろいろな取り組みなど合わせて行っております。
	⑬	事業所の支援に満足しているか	13	0	1	0	保護者様と連携を行い、満足していただける内容に随時確認して対応してまいります。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。